2　地理歴史・公民

学校番号	４１７

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「最新現代社会新訂版」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会に自分自身が関わっていることを理解する。
・現代社会の諸課題に「なぜ」の視点を持つ。
・現代社会の諸事情を踏まえ、自分自身の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断できる。
・自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追求するとともに，社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用して学ぶ方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ノート	定期考査	定期考査	ノート
	レポート	レポート	レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球環境問題	・破壊される地球 ・地球環境問題への取り組み	○	○	○	○	a:地球環境問題、特に地球温暖化に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b:地球環境問題、特に地球温暖化について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、環境保全、温暖化防止をどのように図っていくかを多面的・多角的に考察している。また、国際的な取組や協力、自らの生活の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c:地球環境問題、特に地球温暖化に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d:地球環境問題、特に地球温暖化は、経済発展に伴う二酸化炭素などの排出、地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解し、その知識を身に付けており、また、問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート

1学期	資源・エネルギー問題	・限りある資源 ・エネルギーの開発と利用 ・人口問題と食料・水資源	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	a:資源・エネルギー問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b:資源・エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、消費・利用について多面的・多角的に考察している。また、自らの生活の在り方や価値観について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c:資源・エネルギー問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d:資源は有限であることを理解し、その公正な分配と持続可能な利用などについて様々な立場でそれぞれの考え方があることに気付き、その問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、それらの知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

1学期	生命科学と情報技術の課題	・人間の生死と生命科学 ・遺伝情報と利用の諸課題 ・高度情報化社会と情報倫理	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b:科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、科学技術の発達に伴う生命の考え方の変化について多面的・多角的に考察している。また、科学技術と生命の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その考察過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c:科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d:科学技術の進歩が、人間の生命や死の在り方にまで影響が及んできたことにを理解し、その知識を身に付け、また、その問題が生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、それらの知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	自分らしく生きる・人間としてよく生きる	・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・哲学と人間 ・宗教と人間 ・科学と人間 ・自由の実現 ・人間と幸福 ・人間性の回復と主体性の確立 ・他者の尊重	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自己形成の課題を意欲的に追究し、自己の生き方について考察しようとしている。 b:自己形成や生き方について、幸福、正義、公正などを用い多面的多角的に考察、その過程や結果を適切に表現している。 c:青年としての生き方に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題、青年としていかに生きるかについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d:生涯における青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	日本人としての自覚・現代国家と民主政治	・古代日本人の思想と仏教思想の展開 ・外来思想の受容と日本の思想 ・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a・現代の民主政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。 b:現代の民主政治から課題を見いだし、個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d:国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権保障の広がりと公共の福祉 ・平和主義とわが国の安全 ・こんにちの防衛問題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	a:現代の民主政治に対する関心を高め、基本的人権の保障、国民主権、議会制民主主義、平和主義などを意欲的に追究し、考えようとしている。 b:現代の民主政治から課題を見いだし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から民主社会において求められる価値や民主政治を基礎づける考え方などについて学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。 d:基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	日本の政治機構と政治参加	・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a:現代の民主政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。 b:現代の民主政治から課題を見いだし、個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:現代の民主政治とその課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d:国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解し、その知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。